

エコ・へるす

〇〇●●長野県環境保全研究所ニュース 平成27年(2015年)11月27日発行●●〇〇
 安茂里庁舎 〒380-0944 長野市安茂里米村1978 TEL.026-227-0354 FAX.026-224-3415
 飯綱庁舎 〒381-0075 長野市北郷2054-120 TEL.026-239-1031 FAX.026-239-2929
<http://www.pref.nagano.lg.jp/kanken/index.html> Email: kanken@pref.nagano.lg.jp



野尻湖流入河川の特徴と当所の取組み

野尻湖は、上水内郡信濃町にある、県内最大の貯水量を誇る天然湖沼です。毎年多くの観光客が訪れ、その水辺は地域の人々にとっても大切な憩いの場となっています。また、利水面では、発電、農業用水など貴重な水資源としての役割を担っています。県では「第5期野尻湖水質保全計画」を定め、水質保全対策を進めています。この保全計画のあらましは、「エコ・へるす」第54号で紹介しました。

当所では、野尻湖へ流入する河川からの汚濁負荷量の季節変動や各河川の特徴等を把握し、より効果的に水質保全対策がなされるよう、河川の流入水量や窒素、りん等の水質を測定しています。野尻湖には、湖に直接流入している河川(直接流入河川)と、発電や農業用水に利用するため、人工的に導水をしている河川・水路(間接流入河川)があります。湖に流入する河川の水量は3月から増加し始め、5月にかけて最大となる傾向が見られ、この期間は雪解けによる影響で、直接及び間接流入河川いずれも水量が増加します。とくに間接流入河川では春先に、人工的に水を流入させ、夏季に向けて湖に貯水をするため、流入水量が顕著に増加します。流入水量が増加するこの期間に、全窒素や全りんの流入負荷量も増加します。平成26年度の晴天時調査では、4、5月の汚濁負荷量が、全窒素、全りんともに年間総汚濁負荷量の8割以上を占め、間接流域か

らの流入負荷量が多くを占めました。また、河川別の全窒素、全りんの濃度については、菅川が他の河川よりどちらも比較的高い値を示しました。菅川流域、市川流域は、野尻地区と併せて、汚濁負荷量が比較的多い場所として、水質保全計画において流出水対策地区に指定されています。流出水対策地区では、河川浄化対策等の各種対策を重点的に実施し、流出水の汚濁負荷量の低減に努めています。

当所では、今後、降雨時の汚濁負荷への影響について調査を行うとともに、汚濁負荷量の増加する融雪期、間接流入河川の導水期の水質調査を重点的に行うことにより、流入汚濁負荷量の実態把握に努めてまいります。

(館内 知佳 kanken-mizu@pref.nagano.lg.jp)



写真 菅川の水質調査のようす

目次

- ・ 最近の話題「野尻湖流入河川の特徴と当所の取組み」 1
- ・ 報告「環境保全に取り組む市民大集合 in 人と生きものつながり創生 全国フォーラム」 . . . 2
- ・ 研究所日記「雲の上で大気汚染を監視!？」 3
- ・ お知らせ「平成27年度 公開セミナーを開催します!」 4
- ・ 報告「平成27年度外部評価委員会を実施しました」 4

